

Pal

～仲間



2024
Spring Edition
Vol.121

2024年(令和6年)3月31日発行

データから見る地域に暮らす外国人.....1
 災害時に助け合うために.....2
 2024年度賛助会員、イベントカレンダー.....3
 公益財団法人 大和市国際化協会からのお知らせ.....4

発行■ 公益財団法人 大和市国際化協会
 〒242-0018 大和市深見西1-3-17
 市民活動拠点ペテルギウス北館1階
 TEL 046-265-6051 FAX 046-265-6052
 URL : <http://www.yamato-kokusai.or.jp>
 Email : pal@yamato-kokusai.or.jp

データから見る地域に暮らす外国人

①大和市の外国籍市民は何人に1人？

1 3,300人に1人

 3,000人 300人

2 330人に1人

 300人 30人

3 33人に1人

 30人 3人

②大和市に一番多く住んでいるのは中国の人。ではこの1年間に一番増えたのは？

1 中国

2 ベトナム

3 フィリピン

③大和市民の平均年齢は、44.8歳。外国籍市民の場合は？

1 27.6歳

2 37.6歳

3 47.6歳

答えは2ページにあります

2023年12月31日現在、大和市に住んでいる外国籍市民の数は8,044人で、出身国は90カ国を数えます。

2023年の1年間に増加した外国籍市民の数は521人で、2022年1年間の増加数303人と比べると急激に伸びていることが分かります。国別の人口を見てみると、1位は中国(1,628人)で、以下ベトナム(1,544人)、フィリピン(963人)、ペルー(706人)の順になっています。

少子高齢化による労働力不足を背景に、法律を改正して外国人の受け入れ拡大にかじを切ったのは2018年のことです。それに呼応するように、大和市でも技能実習、特定技能、人文・知識・国際業務といった、就労・活動資格に基づく在留資格(※メモを参照)を持つ市民が増えてきました。若年層で比較的在日年数の短い外国籍市民の増加を意味し、日本での生活についてのオリエンテーションや日本語学習の機会、小中学校や高校に通う子どもたちへの学習支援等の拡充が急務です。



日本に暮らしている外国人の在留資格は29種類あります。そのうち短期滞在、外交、公用の3つ以外の在留資格を持つ人と特別永住の資格(特別永住は「在留」資格に含まれません)を持つ人が、住民登録上の外国「籍」市民にあたります。

大和市にはその他に、その数を統計からは知ることができませんが、帰化をしたり、両親のどちらかが日本人であったり、日本人の両親のもとで、長く外国に暮らしていたなどの理由から、日本国籍を有し外国にルーツをもつ人もたくさん暮らしています。

そのため、日本国籍を有し外国にルーツがある人と、外国の国籍を持つ人をあわせて、国際化協会では外国「人」市民と呼んでいます。

「地位又は身分に基づく在留資格」

永住、定住、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等の4つの在留資格を指します。仕事・活動内容に制限がありません。

「就労・活動資格に基づく在留資格」

就労や活動などの目的に基づいて日本で暮らすことが認められる在留資格です。仕事・活動内容や在留期間に制限があります。

「大和市の外国籍人口」

	2018年11月	2023年12月	2023年平均年齢
地位・身分に基づく在留資格	4,888人	5,245人(+357)	40歳
就労・活動資格に基づく在留資格	1,653人	2,793人(+1,140)	31歳
就労・活動資格に基づく在留資格を持つ人の割合	25%	35%	

災害時に助け合うために

普段から地域の生活情報を日本語で得ることがむずかしい外国人市民は、大きな災害が起きた場合、被害の状況や生活支援に関する情報を把握することがさらに困難な状況に陥ります。このような事態に備え、大和市では、大きな災害が起きた際に市と当協会が「災害多言語支援センター」を立ち上げ、外国人市民向けに多言語による情報提供を行う内容の協定を取り交わしています。また、災害時に外国人市民が直面する困難をともに考え、外国人市民を含めた地域住民同士の共同作業を通じて地域の防災力の向上を図る目的で「多文化共生防災訓練」を市国際・男女共同参画課と当協会が共催する形で実施しています。

この訓練を2月18日(日)に光丘中学校で開催しました。支援者向けの訓練は、NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会の高橋理事を講師にお招きし、災害時に外国人市民が直面する課題とボランティアの役割について、過去の被災事例を交えてお話していただきました。外国人向けの訓練は、大和市役所危機管理課の職員に講師を務めていただき、中丸危機管理監から地震が起きたときにとるべき行動や避難の流れを具体的に説明いただきました。そのほか、水を使った携帯トイレ体験や大和市役所ホームページの翻訳機能、多言語情報について伝えていただきました。ベトナム語とインドネシア語の通訳ボランティアが同席したことで参加者の理解が深まったようでした。

最後に参加者全員がグループに分かれてやさしい日本語とピクトグラムを使って災害情報を伝える合同のワークショップを行いました。「知らせたい内容は多いが、実際に被災すると何を伝えるべきなのか簡潔でわかりやすいお知らせが必要だとわかった。」「言葉より文化の違いが大きな問題なのかと思った。」などといった意見があり、外国人向けに情報を伝えるときに気をつけることが理解できたようでした。また災害時に母国へどのように連絡したらよいか、心配になったという外国人の声も挙がっていました。

開催にあたり、災害時の避難所を運営する委員会のメンバーである地元の自治会（大和南自治連合会、大和東一丁目自治会、光丘自治会）や光丘中学校教職員のほか、相鉄企業株式会社、社会福祉法人プレマ会のみなさんにご協力をいただきました。災害ボランティアセンターの運営主体となる大和市役所市民活動課と社会福祉協議会にもご参加いただきました。今後も大きな災害発生時に備えるため、関係団体との連携を進めるとともに、外国人市民が災害のときも信頼のおける情報にアクセスしやすくなる環境づくりに取り組んでまいります。



地域、企業、学校、行政などさまざまな立場の人が混在したグループに分かれて実施したワークショップの様子。



支援者向け訓練（講師の講義を通して「やさしい日本語」など、支援者の少しの工夫が外国人市民を助けることを学びました。）



外国人向け訓練（実際に水を使って携帯トイレを体験するなど防災用品の使い方を学びました。）

1ページ目の答え

①大和市の外国籍市民は何人に1人？



② 33人に1人
大和市の総人口は、2023年12月現在244,978人で、8,044人が外国人です。そのため、大和市の33.3人に1人が外国人です。

①大和市に一番多く住んでいるのは中国の人。では一番増えたのは？



② ベトナム
2023年中に一番増えたのは、ベトナム人です。2022年に比べ、274人増加しました。2番目は中国人で、69人増加しました。

③大和市民の平均年齢は、44.8歳。外国籍市民の場合は？



② 37.6歳
外国人市民の平均年齢は37.6歳で、市民全体よりも7.2歳若いです。一方、65歳以上の外国人は555人(7.4%)で、2022年の493人(6.6%)と比べ、高齢化が進んでいることもわかります。

2024年度賛助会員を募集します

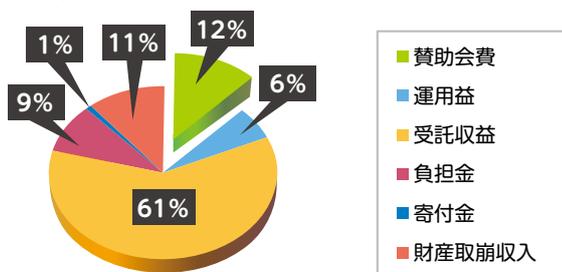
国際化協会の事業は、多くの市民の皆さんのボランティア活動や会費によって支えられています。

●何に使っているの？ 賛助会費の使い道についてご説明します。

国際化協会の事業の実施にかかる費用は、大和市からの事業受託収益の他、事業の参加者などから受け取る負担金、基本財産の運用益、そして賛助会費、寄付金でまかなわれています。

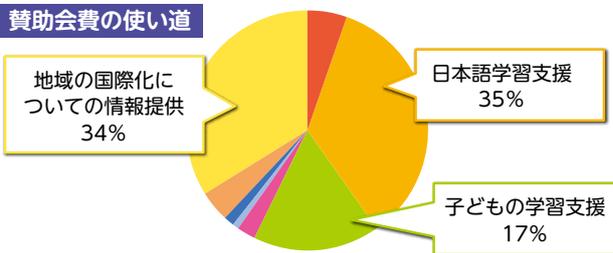
最近では、当期の収入だけでは事業費が足りず、つみたててきたお金を取り崩して事業を実施することもあります。

2024年度に見込んでいる支出のうち、賛助会費の占める割合は12%です。



主に、「地域の国際化に関する情報の提供事業」、「外国につながる子どもたちへの日本語及び教科学習支援事業」、「外国人市民への日本語学習を支援する事業」などに使用しています。

賛助会費の使い道



特に、小中学校・高校に通う子どもたちへ学習支援事業やウェブサイトの運営、機関誌の発行などは、国際化協会の自主財源だけで実施しており、賛助会費を欠かすことはできません。大和市の多文化共生をすすめるためにも、ぜひご加入ください。

●賛助会員の特典

■機関誌「Pa」の送付

年に4回発行している協会の機関誌です。国際化協会のイベント情報をいち早く皆さんにお届けします。

■協力指定店での割引サービス

賛助会員の会員証を提示すると、国際化協会の協力指定店であるお店で割引やサービスを受けることができます。

●年会費 個人会員一口 1,000円

法人会員一口 10,000円

※2024年4月1日から2025年3月31日まで有効です。

ありがとうございました！

2023年度は、1,083名21法人の皆さん
(計1,481,000円)にご協力いただきました！

国際化協会への寄附金や賛助会費は、所得税及び個人市・県民税の寄付金税額控除の対象です。

申告に必要な受領証の発行を希望される方は、会費納入の際にお申し出ください。

詳しくは、国際化協会事務局までお問い合わせください。



2024年度 イベントカレンダー【保存版】

4月	5月	6月	7月
毎週火曜日 「かんたん」な日本語教室 第4水曜日 外国人ママのひろば ~30日 国際化推進助成金申請締め切り 末日 外国語版情報紙 Terra・Tierra・ニイハオ・チャオバーン発行	毎週火曜日 「かんたん」な日本語教室 第4水曜日 外国人ママのひろば	予定 世界とつながろう 毎週火曜日 「にほんごをはじめよう」(日本語教室)第1期スタート 第4水曜日 外国人ママのひろば 末日 外国語版情報紙 Terra・Tierra・ニイハオ・チャオバーン発行 協会機関誌「Pa」発行	14日 日本語スピーチ大会 22~26日 夏休み子ども教室 第4水曜日 外国人ママのひろば
8月	9月	10月	11月
第4水曜日 外国人ママのひろば 毎週火曜日 「にほんごをはじめよう」(日本語教室)第2期スタート 末日 外国語版情報紙 Terra・Tierra・ニイハオ・チャオバーン発行	予定 外国人市民サミット 予定 日本語ボランティア教師養成講座 予定 世界とつながろう 第4水曜日 外国人ママのひろば 末日 協会機関誌「Pa」発行	第4水曜日 外国人ママのひろば 末日 外国語版情報紙 Terra・Tierra・ニイハオ・チャオバーン発行	予定 日本語教授法ブラッシュアップ講座 予定 世界とつながろう 予定 大和市防災フェスタ出展 毎週火曜日 「にほんごをはじめよう」(日本語教室)第3期スタート 第4水曜日 外国人ママのひろば
12月	1月	2月	3月
中旬 ハッピーフェスタ 第4水曜日 外国人ママのひろば 末日 外国語版情報紙 Terra・Tierra・ニイハオ・チャオバーン発行 協会機関誌「Pa」発行	予定 大和市プレスクール(シリュウ) 予定 大和市プレスクール(IKOZA) 毎週火曜日 「にほんごをはじめよう」(日本語教室)第4期スタート 第4水曜日 外国人ママのひろば	予定 多文化共生防災訓練 第4水曜日 外国人ママのひろば 末日 外国語版情報紙 Terra・Tierra・ニイハオ・チャオバーン発行	初旬 ボランティア交流会 予定 世界とつながろう 第4水曜日 外国人ママのひろば 末日 協会機関誌「Pa」発行

開催時期は未定ですが、その他にこのような事業を予定しています。 ■ 通訳・翻訳ボランティアスキルアップ研修会(3回) ■ 第6期 大和市多文化共生会議

公益財団法人 大和市国際化協会からのお知らせ

9:00~16:00 ベトナム語
10:00~13:00 タガログ語
10:00~13:00 中国語
9:00~17:00 スペイン語

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
			0	11	12	13
4月	14	15	16	17	19	20
	21	22	23	24	26	27
	28	29	30			
			1	2	3	4
5月	12	13	14	15	17	18
	19	20	21	22	31	25
	26	27	28	29	30	
6月	9	10	11	12	13	15
	16	17	18	21	22	22
	23	24	25	26	27	28
	30					Pal Vol.122 発行

土曜開庁日 【毎週火曜日】かんたん日本語教室(午後6時より)

■公益財団法人大和市国際化協会
〒242-0018
神奈川県大和市深見西1-3-17
市民活動拠点ベテルギウス北館1階
Tel: 046-265-6051
Fax: 046-265-6052
Email: pal@yamato-kokusai.or.jp
http://www.yamato-kokusai.or.jp
受付時間 月・水・金 第1,3土曜日
8:30~17:00
火・木 8:30~20:15



ピックアップ!

①開催日時 ②開催場所 ③費用 ④内容 ⑤講師
⑥対象 ⑦定員 詳しくは、国際化協会のホームページ
(http://www.yamato-kokusai.or.jp/)でご確認ください。お
問い合わせ、お申込みは、電話、窓口、Fax、Emailで受け付けます。

注意

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
現在、利用者のマスクの使用は任意としています。入室時
の記録簿の記入、使用後の机・椅子の清掃は引き続き実
施していますのでご協力ください。また、飲食をする場合、
事前に申し感じ染対策を徹底してください。

国際化推進業務に対する助成金の交付

大和市民が中心になって実施する、地域の国際化につな
がる非営利の活動(例:日本語教室、日本人市民と外国
人市民の交流活動など)に対し、助成金を支給します。
①4月1日から4月30日(応募期間) ②応募用紙は国際
化協会のウェブサイトからダウンロード 事業内容や申
請方法など、相談に応じますのでお気軽にお問い合わせ
ください。

「にほんごをはじめよう」(日本語教室)第1期

はじめて日本語を勉強する人のための日本語教室です。
全部で8回のコースを、年に4回実施します。
①2024年6月4日から7月23日(全8回) 毎週火曜日午
前10時から正午まで ②市民活動拠点ベテルギウス北
館1階会議室 ③全8回で3,000円 ④これから日本語
を勉強したいと考えている人が、日本語を勉強するた
めの準備をします。⑤谷中いずみ先生 ⑥日本語を初め
てつかう人、日本語をもう一度最初から学びたい人
⑦10名

外国人ママのひろば

外国につながるママや外国につながる子どもを育てて
いるママたちが集まって、おしゃべりを楽しみます。
①毎月第4水曜日の午前11時から午後1時まで ②国際
交流サロン(市民活動拠点ベテルギウス北館1階) ③無
料 申し込みは不要です。直接会場にお越しください。
ママだけでも、子どもと一緒にでもどちらでも参加でき
ます。昼食を一緒に食べることもできますので、希望者は簡
単な食べ物をお持ちください。

スピーチ大会参加者募集

スピーチ大会で日本語のスピーチを披露して下さる外
国人市民を募集します。
①7月14日(日)午後1時30分から4時 ②保健福祉セン
ターホール ④日本語スピーチの発表 ⑥4月22日(月)
から電話もしくはEmailなどで、先着順に受け付けます。
(申込書や原稿は後日提出していただきます。)

夏休み子ども教室ボランティア募集

外国につながる子どもたちの学習をサポートする「夏休み
子ども教室」で子どもたちの勉強をみてくださるボラン
ティアを募集します。
①7月22日(月)~26日(金)(全5回)ベテルギウス北館
1階会議室/7月24日(水)~26日(金)(全3回)IKOZA
3階(渋谷学習センター会議室) いずれも午前9時30分
から11時30分 ②電車、バス、車を利用される方(往復
2km以上)へ交通費実費分を支給
※IKOZA開催については、渋谷学習センターが主催し、
NPO法人多文化共生ボランティア団体KAMと協力して
実施します。